

令和3年度 タブレット端末等導入検討会行政視察報告書

タブレット端末等導入検討会

座長 高道 秋彦

1 視察日及び視察先

- (1) 令和3年11月5日(金) 射水市
- (2) 令和3年11月11日(木) 小矢部市
- (3) 令和3年11月12日(金) 南砺市

2 視察参加委員

- | | | |
|----------------|------------------|-----------------|
| (1) 11月5日(射水市) | (2) 11月11日(小矢部市) | (3) 11月12日(南砺市) |
| 座長 高道 秋彦 | 副座長 江西 照康 | 座長 高道 秋彦 |
| 委員 舎川 智也 | 委員 吉田 修 | 委員 金岡 貴裕 |
| 〃 東 篤 | 〃 大島 満 | 〃 藤田 克樹 |
| 〃 大島 満 | 〃 松井 桂将 | 〃 豊岡 達郎 |
| 〃 谷口 寿一 | | 〃 岡部 享 |
| 〃 尾上 一彦 | | 〃 上野 蛍 |
| 〃 鋪田 博紀 | | 〃 押田 大祐 |
| 〃 赤星ゆかり | | 〃 東 篤 |
| | | 〃 谷口 寿一 |
| | | 〃 松井 桂将 |
| | | 〃 赤星ゆかり |

3 随行職員

- | | | |
|----------------|------------------|-----------------|
| (1) 11月5日(射水市) | (2) 11月11日(小矢部市) | (3) 11月12日(南砺市) |
| 庶務課庶務係長 | 庶務課庶務係長 | 庶務課庶務係長 |
| 竹端 志織 | 竹端 志織 | 竹端 志織 |
| 議事調査課長代理 | 議事調査課議事係長 | 議事調査課調査係長 |
| 中山 崇 | 酒井 優 | 金井 沙織 |

4 視察概要

(1) 視察事項

タブレット端末及びペーパーレス会議システムを使用した議会運営等について

(2) 視察の目的

富山市議会では、議会の活性化、議会運営の効率化及び危機管理体制の強化など議会機能の向上を図ることを目的として、今年度よりタブレット端末等導入検討会を設置し、タブレット端末等の導入に向けて協議を行っている。

県内で先行してタブレット端末を導入し、ペーパーレス会議システムを運用している他市議会の取組を視察し、本市での導入に向けた検討の参考とするもの。

(3) 導入状況

			射水市	小矢部市	南砺市
議 会	導 入 時 期	タブレット端末	令和元年 6 月	令和元年 6 月	平成 29 年 6 月
		ペーパーレス 会議システム (本会議での運用)	9 月定例会	9 月定例会	6 月定例会 (試行運用) 9 月定例会 (本格運用)
		導入機種	iPad Pro12.9 インチ	iPad Pro12.9 インチ	iPad Pro12.9 インチ
		モデル	Wi-Fi+cellular	Wi-Fi+cellular	セルラー
		容量	64GB	64GB	128GB
		端末	市費	市費 1/2 政務活動費 1/4 私費 1/4	市費
		通信費	市費 1/2 政務活動費 1/4 私費 1/4		市費 1/2 政務活動費 1/4※ 私費 1/4※ ※負担額は 1,000 円
		ペーパーレス 会議システム	SideBooks	SideBooks	SideBooks
執 行 部		導入時期	議会と同時	令和元年 12 月	議会と同時
		導入機器	MS Surface Pro6 12.3 インチ	iPad Pro12.9 インチ iPad Pro10.5 インチ	iPad Pro12.9 インチ (Xperia Tablet から H30 に買い替え)
		モデル	Wi-Fi	Wi-Fi	Wi-Fi
		会議システム	SideBooks	SideBooks	SideBooks
	その他		<ul style="list-style-type: none"> ○議会関係の全ての会議や視察等でタブレット端末が活用されている。 ○予算書、議案書等、資料の種類により紙媒体も併用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○議会関係の全ての会議や視察等でタブレット端末が活用されている。 ○タブレットを活用したオンライン会議を令和 3 年度に 2 回実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○議会関係の全ての会議や視察等でタブレット端末が活用されている。 ○増加するデータの整理方法やフォルダの管理方法が課題。 ○SideBooks のデータ容量は執行部側と共用している。

5 所感

〔高道座長〕 ※射水市と南砺市を視察

射水市と南砺市の議会でのタブレット端末を生かした議会運営、使用状況、導入経緯や効果と課題について視察させていただいた。両市議会とも導入に向け、県内でもいち早くから検討、実施され、導入による効果を発揮されており、以前のような紙ベースには戻れないほどタブレット端末導入にはメリットがあることが認識できた。今後も協議、検討、他導入自治体への視察等を重ね、議会の活性化、ペーパーレス化などの議会運営の効率化、連絡手段の見直しなどをめどに、中核市である富山市の議会として、ふさわしい形でのタブレット導入をなるべく早く進めることが必要と考える。

〔江西副座長〕 ※小矢部市を視察

小矢部市議会は副議長就任の挨拶に伺った際に、小矢部市議会の正副議長から富山市議会も1日も早く導入すべきですよとのアドバイスがあったことから、具体的な活用にとっても関心があった。方式は当議会でも検討する方式のうち、PDFのビューア方式の簡易なものである。その分、実際の活用は既に各議員に定着しており、これはどうだろうかと思うことについて質問すると、説明をして下さった小矢部市議それぞれがさらっと説明、操作することができ、これらの情報が使いこなせれば、議員の調査活動に大いに貢献できるものと実感した。

〔金岡委員〕 ※南砺市を視察

タブレット導入に対して、検討段階で、全議員による視察、全議員によるデモを実施するなど、議会全体で取り組んでおられる思いがした。

ペーパーレス化による削減効果に関しては、会議資料にかかる用紙コストや印刷コスト、配布コスト等を導入コストと比し、費用対効果はないとのことであったが、南砺市議会会議システム用タブレット型端末機使用基準に紙媒体を併用して配布するものもあったので、やり方次第では、費用対効果があるものと感じた。

また、導入後の感想には、議会事務局職員、議員双方で便利になったとの声があるので、これに尽きるものと思われま

〔藤田委員〕 ※南砺市を視察

南砺市が利用しているペーパーレス会議システムとタブレット端末を視察し、その運用状況について伺いました。質疑の際、ペーパーレス会議システムの導入とタブレット端末の利用をやめることについて、南砺市当局の率直な意見は「利用をやめることはできない」でした。この回答を受け、ペーパーレス会議システムの導入とタブレット端末の導入による効果は充分に出ていると感じております。

システム導入と運用の課題についても、先行導入している自治体の状況を十分に調査研究し、導入後の成果を十分に発揮できるよう取り組みたく思います。

〔豊岡委員〕 ※南砺市を視察

南砺市はSide Booksを用いて議会のペーパーレス化に取り組んでおられま

した。導入理由は、画面分割できるということです。複数の資料を同時に確認できることは、ソフトウェア選定に重要なファクターであると考えました。また、グループウェアを用いて連絡を行っているということです。グループウェアでの連絡は慣れ不慣れの影響が出て、あまり確認されない方への連絡が遅れないか心配ですが、南砺市ではそれほど問題なく運用されているとのことで、慣れれば大丈夫かと思いました。

〔吉田委員〕※小矢部市を視察

小矢部市は、数年前にタブレットを導入して、議員の中でも、議会事務局、市当局の中でも、かなり定着していると感じた。特に、議長、副議長、元議長の熱意を感じた。ベテラン議員に不得意という人が多いと言っておられたが、私もこの分野には、どちらかという弱い。しかし、タブレット等は時代の流れ。遅れないよう頑張っていきたい。

11月16日の検討会でも議論になったが、議会事務局に過度の負担をかけないことが課題として残る。小矢部市議会では、議会事務局の担当者の能力が高く、ページ変更等に関与してくれていると聞いた。導入当初は、議会事務局に多大の負担をかけるのは避けられないと思うが、何とか乗り越えたいものだ。同時に、市当局のペーパーレス化も大きな課題であろう。

〔岡部委員〕※南砺市を視察

平成23年11月に議場、委員会へのPC持ち込みと会議案内文書のペーパーレス化について協議したが、引き続きペーパーレス化と併せて検討すべきとし、平成27年12月から本格協議を開始。全議員で他自治体の視察やシステム業者からの提案デモを行い、平成29年9月定例会より本格運用。導入コスト360万円に対し、削減経費が186万円と、費用対効果はないとの結論。メリットとしては資料持ち運びの軽減や検索の利便性の向上が議員にも執行部にも大きいとのこと。なお、個人負担は通信費で月額2,000円（内1,000円は政務活動費で拠出）。

〔上野委員〕※南砺市を視察

南砺市議会においてはSideBooksを使用しており、連絡ツールはその他のアプリを利用していた。予算書等の一部資料については現在でも希望者に紙の資料を配付しており、全部がデジタル化されていない状況であった。また、複数資料を同時に見ることや携帯性向上のためひと回り小さいタブレット端末を、政務活動費を使い2台目として導入することを検討しているとのことだった。富山市議会では、紙資料をなくしてタブレット端末を十分に活用すること、機動性を考慮することや使用上のルールを明確にする必要性を感じた。

〔舎川委員〕※射水市を視察

射水市議会ではペーパーレス化を本旨として平成30年に議会改革特別委員会でタブレット端末の導入検討を始めた。当局も本会議や委員会でのペーパーレス化に賛同し令和元年9月から幹部職員へのタブレット端末の導入をすることに加えて議会

での運用を開始している。議員の22台のタブレット端末（iPad Pro、セルラータイプ、SideBooks）を公費で導入し、年間125万円の予算を充当。通信費は公費2分の1、私費4分の1、政務活動費4分の1を充てている。現在、射水市議会は、ペーパーレス化を進めると同時に議会活動の効率化を追求している。本市議会においても、まずは議会側からペーパーレス化を入口として導入することに取り組み、その後、当局へも働きかけ、紙削減等による費用対効果に加えてシステム構築による議会活動の効率化やあらゆる環境下での情報共有等、導入による効果を様々波及させていくことに努めていきたい。

〔押田委員〕 ※南砺市を視察

（南砺市議会のタブレット導入に関して）2点気になるところがあり質問をした。

1点目は月々の費用負担において議員サイドが2,000円を負担しているところである。1,000円は政務活動費、もう1,000円が私費である。この点に関しては英断と思う。普段から議員活動を行う際には常に携帯していることがベストであるが、市民と接する場合にはあらゆる分野の話題が上ることもあり、様々な調べものもする。その全てが議員活動と言えるのかという点を払拭するには、私的利用とまではいわずともある程度の融通性も必要である。私費も支払うことでその融通性は担保されると思う。

もう1点、サイズと重さである。これはかなり難しい。議会での使用を中心に考えるとサイズアップし、携帯性を考えると軽いものとなる。南砺市議会では大きさと重みにより、どうやら議会での使用のみに近づきつつあるのではないか。そうなるならばLTE機能は無用となってしまう。

二律背反するような課題は、どちらかを優先すべきか。検討会で議論を深めるべきだと思う。

〔東委員〕 ※射水市と南砺市を視察

県内で既にタブレット端末を導入している射水市議会と南砺市議会を視察しました。両議会とも1～2年の議論を経て導入し、いずれも見やすさを重視して12.9インチを使っています。通信費の負担割合は概ね、議会5割、政務活動費2割5分、議員個人2割5分としています。導入の効果として、紙の使用量が減った、議会運営が効率化された、過去の資料を調べる労力が削減された、などの報告がありました。課題として、導入の目的にはペーパーレス化もありますが、紙ベースの資料を要求する議員もいるとのことで、本市議会での導入時には議員一人一人の意識改革も求められます。

〔大島委員〕 ※射水市と小矢部市を視察

射水市の視察をして、タブレットの導入のメリットとデメリットを実感できました。

導入時点で全員の合意がなかったため、いまだに紙ベースで資料を要求し、タブレットを使用されていなかったり、連絡はメールもファクスも要求したりと、議会事務局の大変さを改めて思いましたが、富山市議会でも、来年度には、タブレットと紙の

併用でも構わないので、早く導入することを同意すべきと思います。その際は、全員が同意できる条件で、まず始めて、その後少しずつ直していくべきと思います。それにしても、タブレットは重かったです。

小矢部市では、射水市と同じSide Booksを導入していました。導入時に熱心に活動された前議長と現正副議長の説明からは、今の時代、どうしてもペーパーレスにすべきという強い信念を感じました。射水市議会は改選のため議員が不在で、議会事務局の職員からの説明のみだったため、実際に利用している議員からの説明は、違ったものと受け止めました。

小矢部市議会では、当局とも完全にペーパーレスで、スマホとパソコンからも資料が見られるようにしてあり、庁内会議でも、庁舎外でも十分な活用ができていたと感じました。リーダーシップが発揮された好例でした。

〔谷口委員〕 ※射水市と南砺市を視察

射水市議会、南砺市議会ともにペーパーレスによる費用の削減はなく、かえって費用は増えたとのことであった。また、両議会ともにタブレットを導入しながら、紙資料を残しており、特に予算書や決算書はデータと紙資料をともに配布するということが無駄が多いと感じられた。議案説明の際、説明しているページを共有できる機能があり、資料を飛ばすのは説明員ではなく、議会事務局員が行っており、負担が増えているのではと感じた。また、説明の際、タブレットと紙資料のページが違うとのことだったので、導入の際には同じになるよう留意したい。

〔尾上委員〕 ※射水市を視察

今回、実際にタブレット端末を活用して議会運営を行っている市議会を視察し、当市議会でタブレット端末を導入するに当たり、十分に議論・検討を行う必要があると感じた。

射水市と富山市では議会事務局の規模が異なるため、実際に運用してみないと分からない部分もあるが、事務局に過度な負担が掛からないような仕組みを構築すること、最終的には当局も同じシステムを導入し、議会に関する事項は全てペーパーレスにすることが必要と感じた。

〔松井委員〕 ※小矢部市と南砺市を視察

議会のペーパーレス化を目指し、既に、タブレット端末を導入されている小矢部市議会を視察しました。平成29年10月に議会改革協議会で検討に入り、翌年の12月定例会には、本格導入された経緯をお聞きすると、非常にスピーディーに運用を開始されたと感じます。導入の効果については、やはり、メリットとしてはペーパーレス化や、事務局からの連絡をはじめとする情報の迅速な共有化、事務コストの低廉化による効率化が図られることなど、費用対効果は十分にあると確認できました。富山市も会議システムの選定とキャリアの選定について検討を行っていますが、まだ選定が終わっておらず、予算要望が必要なことから迅速に取り組んでいく必要性を確認しました。

次に、タブレット端末等導入検討会の県内視察として南砺市議会を訪問しました。平成27年12月より本格協議を開始し、県内の議会の中でも早く、平成29年9月定例会から本格運用を開始されました。会議システムとしてはSideBooksを導入され、案内・連絡にはグループウェアのchatworkを使用しているとのことでした。行事予定管理には無料のGoogleカレンダーを使用し共有化しています。導入前にはやはり年配議員には不要論もあったようですが、議員懇談会において全会一致で導入が決定し、導入後においては、不慣れな議員・職員も必然的に操作せざるを得ない状況になり、本会議をはじめ各委員会、議員懇談会などの全ての会議でタブレットが使用されているとのことで、執行部関係においてもペーパーレス化が定着しているとのことでした。本市も導入に向け着実に推進していきたいと思えます。

〔鋪田委員〕 ※射水市を視察

射水市では、当初導入に消極的だった市長部局が、議会の導入に併せて、タブレット端末と会議システム導入に踏み切ったことから、本市議会においても議会への導入に併せて、市長部局に対して導入を検討するよう働きかける必要がある。

なお、費用負担について自費で4分の1を充当されているが、個人利用の拡大につながることから慎重であるべきと考える。このことについては、政務活動費の充当を含め運用基準をしっかりと定めるとともに、技術の進歩に合わせて、活用の在り方について研究を続ける必要がある。

〔赤星委員〕 ※射水市と南砺市を視察

射水市議会では、タブレットの活用方法として、今のところ、有効に活用しきれていないようで、もったいない点もあると思った。議員の年代によって理解度が違うことも感じた。

南砺市議会では、市民への議会報告会でもタブレット端末を活用され、重い冊子の資料をたくさん抱えていなくても、住民の質問に市の予算や計画などについて数字なども正確に答えることができるとのこと。もう4年以上前からタブレット端末を導入しているとのことで、富山市議会はハード面のタブレット端末の導入でも、ソフト面の「議会報告会」といった活動でも、議会改革で相当遅れた動きとなっていることを痛感。iPad Proを横位置にして置き、2画面にして左半分で議会資料を見ながら、右半分ではSafariで他の資料を検索して調べながら見ることもできるので便利。

令和3年11月5日（金）射水市議会





令和3年11月12日（金）南砺市議会

